

AVD-221 HD/SDダウンコンバータ

概要

AVD-221はAVD-200システムに搭載可能な3G/HD-SDI信号をNTSC及びSD-SDI (D1) にダウンコンバートするモジュールです。

特長

- (1) 3G (レベルA/B) /HD/SD-SDIに対応し、入力レート/出力レートをLEDで表示します。

3G-SDI	緑	点灯
HD-SDI	青	点灯
SD-SDI	白	点灯
無信号	消灯 (非対応フォーマット含む)	
- (2) 出力モードは、3G/HD-SDIを入力し、HD-SDI信号を出力するモードと、3G/HD/SD-SDI信号を入力し、SD-SDI信号とNTSCコンポジット出力を出力する2つの動作モードがあります。4Kの2ピクセル・インターリーブ信号を入力し、インターレース変換しHD-SDI出力することが可能です。
- (3) 5種類のアスペクト変換 (スクイーズ、エッジクロップ、レターボックス (16:9、14:9、13:9)) が可能です。
- (4) エンベデッドオーディオ8chに対応します。
- (5) リマッピング、ゲイン調整、ダウンミックス、任意チャンネルのミックス、機能を装備しています。
- (6) 音声遅延を0ms~1secまで1msステップで付加することが可能です。
- (7) 12個のプリセットに各種設定を格納することができ、局間制御パケットのカレント音声モードに従いプリセットの自動切り替えが可能です。
- (8) 字幕パケット・局間制御パケット (ARIB STD-B37,B39) を通過させることができます。
- (9) 筐体LTC-INに入力されたタイムコードを、タイムコードパケットとして重畳することができます。
- (10) 筐体REF入力もしくはモジュールREF入力に同期させることができます。
- (11) リファレンス信号の状態をLEDで表示します。

リファレンス正常	緑	点灯
リファレンス異常	橙	点灯
- (12) ゲイン調整は、-30.0dB~+20.0dBまで、0.1dB単位で設定可能です。
- (13) 任意チャンネルのミックスは、4chまでの音声ソースをミックスすることができ、ミックスした音声を8通り作成することができます。

その8通りのミックスした音声を出力にマッピングすることができます。
- (14) デジタル・オーディオの基準レベルは設定スイッチで切り替えることができます。
- (15) 接点入力によるプリセットの切替およびアスペクト切替が可能です。
- (16) パラメータの設定はPCとUSBケーブルで接続してPCから設定か、PC上のツールでパラメータ設定し、SDカードもしくはUSBフラッシュに保存し、そのSDカードもしくはUSBフラッシュをフロントモジュールに挿入することにより設定します。設定されたパラメータはSDカード内に記録されます。
- (17) SNMPに対応します。

入力信号仕様

SDI入力	
対応規格	3G-SDI : 1080/59.94P (レベルA/B) HD-SDI : 1080/59.94i SD-SDI : 525/59i
音声対応フォーマット	48 k Hz sampling 20bit,24bit 同期音声のみ
コネクタ	BNC×1
入力レベル インピーダンス	0.8Vp-p 75Ω
リファレンス入力	
コネクタ	BNC×1
入力信号 インピーダンス	BBS/3値シンク 75Ω
SDI出力	
対応規格	HD-SDI : 1080/59.94i SD-SDI : 525/59i
音声対応フォーマット	48 k Hz sampling SD 20bit, HD24bit
コネクタ	BNC×2
出力レベル インピーダンス	0.8Vp-p 75Ω
NTSC出力	
対応フォーマット	VBS
コネクタ	BNC×1
出力レベル インピーダンス	1Vp-p 75Ω

一般仕様

使用条件	連続使用
動作環境	
周囲温度	0℃～40℃
周囲湿度	20%～85%(R.H) 結露無き事
設置環境	室内
電源	DC12V
外形寸法	398.5×88mm
占有スロット	1スロット

ブロック図

